

授業科目名	特別研究				
主担当教員	廣橋 賢次	担当教員	廣橋 賢次		
対象学年	1	科目区分	専門分野		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	<p>一般にリハビリテーション医学の対象となる疾患としては、変形性関節症、骨粗しょう症、関節リウマチ、脊椎の圧迫骨折、腰痛、大腿骨頸部骨折などがある。また、スポーツ医学的な観点からリハビリテーションも重要である。これら疾患や障害時における社会復帰やスポーツ復帰のための機能訓練について、リハビリテーション医学、整形外科学、運動学、理学療法学などの研究成果を取り入れ、その対応や治療方法に関する新たな課題を見出し解決するプロセスを学ぶ。</p>				
授業目標	<p>専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。</p> <p>専門領域における研究結果について理論的思考と論文執筆ができる。</p> <p>自身の研究結果と解説についてプレゼンテーションとディスカッションができる。</p>				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床実験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床実験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必</p>				

	<p>要な場合はそれらを実験する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させ提出し、審査により最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	山下 仁	担当教員	山下 仁		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	代替医療・総合医療の利用状況または認識、鍼灸の臨床試験における適切な対照群の開発と妥当性、鍼灸の安全性または有害事象、システマティック・レビューからみた鍼灸のエビデンス、のいずれかについて調査、分析、あるいは臨床試験といった手法によって研究し、論文作成を指導する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について倫理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と調整を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性と検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、また臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>				

教科書	EBM の道具箱 カール・ヘネガン、ダグラス・バデノック 中山書店
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法 と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	坂出 祥伸	担当教員	坂出 祥伸		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	中国の伝統的医学は2千年以上の歴史をもっている。鍼灸にせよ本草にせよ、すべて文献に記載されて今日に至っている。講義で理解した基本的知識を基礎として、中国医学と養生思想の関連性について研究指導を行い、近代科学を通してその今日的意義について考察を深める。近年相次いで出土している戦国秦漢時代の古医書の意義を明らかにする。また、敦煌文書の中で医薬文書の解明は遅れているので、この方面にも注意を向けたい。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必</p>				

	<p>要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	宮本 忠吉	担当教員	宮本 忠吉		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	呼吸化学調節系や動脈圧受容器反射系は、血液ガスやph、血圧の恒常性維持に必要な不可欠なフィードバックシステムである。本特別研究では、システム生理学の手法を用いて、様々な外乱刺激に対する呼吸循環系応答の動作原理や、運動トレーニングによる生体適応変化の法則性、および呼吸循環反応に現れる病態異常所見のメカニズムを解明する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献ダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>				

教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	森谷 正之	担当教員		森谷 正之	
対象学年	1	科目区分		専門科目	
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	呼吸、咀嚼、嚥下は生命維持に関わる重要な機能である。これらの運動は相互に干渉しながら連携をとって円滑な運動が遂行されている。本特別研究では、これらの運動の相互調節に関わる神経機構を明らかにするため、免疫組織化学的手法、電気生理学的手法、神経トレーサー注入などを用い、神経解剖学的、生理学的な検証を行う。さらに、心不全や脳出血等の疾患に伴うこれらの運動の変化(異常)に着目し、その変化の発生メカニズムを解明する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必</p>				

	<p>要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	永瀬 佳孝	担当教員	永瀬 佳孝		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	Rat vibrissa は受動的に外界の情報を受容する感覚器ではなく、能動的な感覚受容、すなわち、active touch に関わる感覚受容器である。本研究では、生理学の古典的な方法である single fibre recording や single unit recording を用いて、vibrissa の感覚情報が運動情報を含むことを証明する。覚醒時の rat は vibrissa を律動的に動かしながら外界を探索している。この律動的な動きは、眼球運動における saccade に相当するものと思われる。そこで、vibrissa に sinusoidal な刺激を与え、外乱を加えることで変化する神経活動からその感覚運動情報変換の仕組みを分析し、過去の研究と比較する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、</p>				

	<p>データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	村上 生美	担当教員	村上 生美		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	ここでは保健医療従事者の援助技術のエビデンスを探求することを主題とする。専門職として、クライアント(患者や家族)に対する援助を提供する場合、説明と同意が必要となるが、そのためには根拠となる知見が必要であることも少なくない。そこで、ある援助の有効性を実験的あるいは準実験的手法で検証する。これらのプロセスを通して、研究手法を学修する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映さ</p>				

	せて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法 と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	青木 元邦	担当教員	青木 元邦		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	各種生活習慣病に起因する動脈硬化性疾患を中心に、各種疾患のメカニズムを分子レベルで詳細に解明し、従来治療では不十分であった難治性疾患に対する新規分子治療開発を目指す。疾患モデル動物に対して、Plasmid DNA・遺伝子発現を阻害する人工核酸遺伝子・薬剤を導入し、病態の key molecule を遺伝子発現レベルで制御する。各種分子生物学的手法による解析を行い、新規治療概念を確立するとともに、革新的な疾患治療開発につなげる。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必</p>				

	<p>要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	仲西 宏元	担当教員	仲西 宏元		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	<p>東洋医学における鍼灸臨床の概念には健康維持・増進、治未病がある。灸治療は古来より健康増進として盛んに行われている。灸治療は温熱効果による局所血流の変化、成分中の化合物が燃焼することによって酸化還元され、その作用によって化学反応が起こり多くのラジカル除去物質を生成する抗酸化作用がある。</p> <p>本研究は鍼灸治療のフリーラジカルと生体防御、疾病予防と健康増進について、明らかにされている基礎研究と臨床研究、その研究方法論を分析する。</p>				
授業目標	<p>専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。</p> <p>専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。</p> <p>自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。</p>				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p>				

	<p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

業科目名	特別研究				
主担当教員	吉村 弥須子	担当教員	吉村 弥須子		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	がん患者の QOL は疾患や治療により大きく影響を受ける。胃がんや食道がん術後患者を対象とした精神健康調査票を用いた調査結果では、医学的、看護的介入の視点から QOL 改善に対する示唆が得られている。この特別研究では、手術を受けるがん患者の入院前から退院後の継続的支援が行えるような体制づくりや、手術を受けたがん患者の QOL 向上のための医療支援に関する研究を行う。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p>				

	81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	中村 允之	担当教員	中村 允之		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	食餌、飲料の補充のみでヒトは生命を維持する。その栄養素の流れ(代謝)を正常時、運動時、病態時(意常時 - 動物等を用いて作り出したときも含む)の標識酵素活性の測定等を通じ、栄養素・熱量素の体内での流れの追い、運動時、病態時(メタボリックシンドローム等を含む)を比較し、さらに免疫系(白血球の動態)や自律神経系の変動に対する食餌と運動の影響を追及する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p>				

	81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	松田 淳子	担当教員	松田 淳子		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	脳血管障害患者の障害構造と理学療法について、障害の理解と理学療法の効果をできるだけ定量的な手段を用いて検討していく。また、脳損傷者が抱える高次脳機能障害や心理精神的な問題に対する理学療法士としての援助の方法と効果についての検討を行い、理学療法効果への貢献について調査・分析と論文作成を指導する。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映さ</p>				

	せて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	中川 司	担当教員	中川 司		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	運動機能の評価方法を運動学的側面は、関節可動域と関節包内運動をひずみ計を用いてする方法を学習する。運動力学的側面は筋機能に着目し収縮力は活動電位と筋力測定機器を用い、全伸張性は関節可動域や弾性を機械的に測定する方法を履修する。また、筋の捻弾性については、物理療法前後での変化を前述の方法で測定する。最終的に運動機能を運動学的側面と運動力学的側面から評価し、特に四肢体幹の回旋機能とそこにかかわる筋機能の関係性の研究指導を行う。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必</p>				

	<p>要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	松熊 秀明	担当教員	松熊 秀明		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	鍼灸や物理療法は末梢の循環不全を改善させ、痛みや冷え等の症状を緩和させるという報告がある。本研究では、鍼灸刺激または物理療法の循環に与える影響を調べる手法として、近赤外線分光法を紹介するとともに、実際に機械を使用して研究を行わせる。研究の内容として、測定部位の近位部位と遠隔部位を刺激させ、その効果の違いとメカニズムについて考えさせる。また、刺激量の違いによる循環の変化についても検討させ、適刺激を探らせる。これらのことを通して、循環系における研究手法と、研究の考え方を身につけさせる。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p>				

	<p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
成績評価方法と基準	研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	

授業科目名	特別研究				
主担当教員	前田 薫	担当教員	前田 薫		
対象学年	1	科目区分	専門科目		
開講学期	通年				
授業形態	演習	単位数	6	必修・選択	必修
授業概要	ヒトが立位において、身体の一部を随意的に運動させるとき、その局所の運動の主導筋に先行して、体幹および下肢の姿勢筋が活動することが知られている。この予測的姿勢制御の脳内過程について、近年、脳波を用いて検討が行われるようになった。本特別研究では、課題(反応のタイミングなど)および環境要因(視覚条件、支持基底面の大小など)の変化が脳電位と予測的姿勢制御へおよぼす影響を主なテーマとして研究指導を行う。				
授業目標	専門領域における文献収集、実験または調査、およびデータ分析ができる。 専門領域における研究結果について論理的思考と論文執筆ができる。 自身の研究結果と解釈についてプレゼンテーションとディスカッションができる。				
履修上の注意					
授業計画	<p>1～10. 研究テーマの関連文献の収集方法を身に付け、実際に収集と整理を行うことによって取り扱う分野における最新情報を把握する。</p> <p>11～20. 関連文献をダイジェストし、教員や同級生とディスカッションを行う。また、研究計画書の原案を作成する。</p> <p>21～30. 研究デザイン発表を行い、ディスカッションとアドバイスにもとづき計画書を完成させる。倫理審査が必要な研究は申請書を提出する。</p> <p>31～40. 予備的な実験または調査を行って研究計画の妥当性を検討し、研究計画書の最終版を完成させ、データ収集を開始する。</p> <p>41～50. 実験、調査、または臨床試験を実施してデータを収集する。また、中間発表を行って複数の教員や研究者から意見を聞き、軌道修正する。</p> <p>51～60. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。</p> <p>61～70. 実験、調査、または臨床試験を行ってデータを収集する。また、データの解析を行って、論理的な解釈を行い、論文を執筆する。</p> <p>71～80. 論文を執筆するとともに、追加実験、再分析、文献再収集が必</p>				

	<p>要な場合はそれらを実施する。</p> <p>81～90. 公開発表会において研究成果を発表し、そこでの指摘を反映させて論文を完成させて提出し、審査による最終評価を受ける。</p>
教科書	必要が生じれば随時紹介
参考書	専門分野の学術論文
授業の進め方	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に取り組む姿勢、研究の中間発表および最終発表での審査、および提出した修士論文の審査により総合的に評価する。修士論文の審査に合格することが必須条件。 ・ 3 / 5以上の出席が必要。
オフィスアワー	
授業改善への工夫	
その他	